

# グローバル通信

長崎県立口加高等学校GLコース 令和2年11月

## 第9回島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生研究発表大会

11月8日（日）、「がまだすドーム（雲仙岳災害記念館）」セミナー室において【第9回島原半島ユネスコ世界ジオパーク高校生研究発表大会】が開催されました。本校グローバルコース1・2年から植物班、看板班、防災班、環境班、ビジネス班が参加しました。

結果、植物班「最優秀賞」、看板班「優秀賞」、防災班「審査員特別賞」、環境班とビジネス班が「研究奨励賞」をそれぞれ受賞しました。

発表の様子、内容等は、下記をご覧ください。

### 最優秀賞

島ユネスコ世界ジオパーク  
高校生研究発表大会  
(第11回ジオ教室)

#### 植物班

研究テーマ  
「固定種守り隊～伝えよう種の多様性～」

### 優秀賞

島原半島ユネスコ世界ジオパーク  
高校生研究発表大会  
(第11回ジオ教室)

#### 看板班

研究テーマ  
「看板が伝えるふるさとの良さ(魅力)」

### 審査員特別賞

島ユネスコ世界ジオパーク  
高校生研究発表大会  
(第11回ジオ教室)

#### 防災班

研究テーマ  
「南島原市防災対策のための調査」

### 研究奨励賞

#### 環境班

研究テーマ  
「南島原市防災対策のための調査」

#### ビジネス班

研究テーマ  
「廃野菜活用大作戦」

## 発表の様子



# 環境班

研究テーマ

『固定種守り隊～伝えよう種の多様性～』

メンバー: グローカルコース

2年 濱田・綾部・白石・田口

1年 稚山・相良七・松藤・本村・森・山本

## 【発表の要旨】

雲仙普賢岳の火山灰を含む肥沃な土壤に恵まれた島原半島は、昔から農業が盛んに行われてきました。そして、長い間半島内で育てられ、その土地に馴染んだ野菜の「種」は種取農家によって受け継がれてきました。種には、代々受け継がれてきて、多様性と適応力に優れた固定種と、一代限りの雑種で大量生産のために作られたF1種があります。しかし、今は、市場に出回っている9割以上をF1種が占めており、昔から守られてきた伝統野菜が絶滅の危機に瀕しています。私たちは、昔から多くの人に種の問題を伝え、野菜を育てることで、身近な目線で種の問題を捉え、解決するために研究を行っていました。現在は、昨年取れた固定種と別の固定種の野菜を育て、より多くの人に伝えるために研究を行っています。

# 看板班

研究テーマ

『看板が伝えるふるさとの良さ(魅力)』

メンバー: グローカルコース

2年 竹市・馬場

1年 小松・林田

## 【発表の要旨】

雲仙市にあるほっとふっと105施設内の看板について、どのような看板がより多く人の興味を引き、良さを伝えられるのか研究した。全体の印象や文字の大きさなどのアンケート調査し、そのデータを基に看板の改良を重ねた。そして、自分たちで作成した看板を全校生徒や全教職員にアンケート調査を実施しました。その結果から背景の色や配置、文字の大きさ、字体、行間などの改善し、最も見やすく伝わりやすいような看板を作成した。

# 防災班

研究テーマ

『南島原市防災対策のための調査』

メンバー: グローカルコース

2年 緒方・田中・橋田・藤尾・近藤・門畑

1年 岩永・円口・太田・田中

## 【発表の要旨】

現在、異常気象や地形の影響などの複雑な要因により、各地で災害が頻発しています。その状況を、私たちが暮らすこの南島原市から、何とか打破できないかと考え、昨年度『防災班』を立ち上げ、以下のような探究活動を行っています。

○南島原市の地形や災害の特徴について

- ・地形と特徴を繋げて考えたこと

○校内での防災意識調査アンケートについて

- ・アンケートの方法（実施日・項目）
- ・結果および考察

○避難経路の調査について

- ・調査方法および気づき

○アンケートや調査等で得た情報を地図作りに活用

○口加高校専用地図の作成

○アンケート結果や調査で発見した課題と今後の展望



# 環境班

研究テーマ  
『与茂作川復活プロジェクト』

メンバー: グローカルコース  
2年 川口・瀬戸口・平・豊島・福田修・福田颯・本多  
1年 池田・宇野・甲斐田・相良美

## 【発表の要旨】

私たち環境班は、口之津町にある与茂作川について研究しています。与茂作川は近年にうなぎ捕獲のために毒が流されたり、上流の浄水場からヘドロが流れ出すなどして多くの生き物が住んでいた与茂作川が奪われました。そのことを知った先輩方が始められた研究です。私たちのテーマは与茂作川を元の多くの生物が住む川に戻すことです。始めは、生物調査、水質調査を行いました。生物調査では、安定して捕獲できず結果が得られませんでした。調べていく中で与茂作川には蛭が住んでいたことが分かりました。私たちはそのホタルを復活させることを考えました。今年もう住んでいないとされていたホタルを無数確認しました。ですが与茂作川の環境はとてもホタルが住める環境ではありません。そこで私たちは、ホタルの住める環境を作るため他の川やホタルの里などを参考にしながら試行錯誤しています。

# ビジネス班

研究テーマ  
『廃野菜再活用大作戦』

メンバー: グローカルコース  
2年 黒岩・高木・熊谷・森島・茅ノ間  
1年 山崎・松藤・松永・井上・坂本

## 【発表の要旨】

島原半島ユネスコ世界ジオパークの一部である南島原市では、その地形や地質の恩恵を受け、おいしい野菜がたくさん生産されている。しかし、アンケートや統計データなどの調査を通して、上質な野菜が販売される一方で、企画に合わないなどの理由で廃棄される野菜も多いことがわかった。そこで私たちは、通常なら廃棄される野菜を、野菜チップスなどの加工食品に加工し販売することで、廃野菜を活用できないかと考えた。本来廃棄される野菜を使うので利益も出やすく、地域を活性化することにもつながるのではないかと考えている。最終的には地元の菓子店などと連携して商品化する計画である。加えて、おいしい野菜を生み出す地理的な特徴を調査し、その要因を明らかにすることで、南島原市の地理的な魅力も同時に発信していきたいと考えている。



発表・参加されたみなさんお疲れ様でした。

